The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

| | |
|---|---|
| Title | ＜紹介＞岡﨑友子・森勇太著『ワークブック　日本語の歴史』 |
| Author(s) | 後藤, 睦 |
| Citation | 語文. 2017, 108, p. 113-113 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/71016 |
| rights | |
| Note | |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

紹　介

## 岡﨑友子・森勇太『ワークブック　日本語の歴史』

後藤　睦

本書は「日本語の歴史を基礎から、やさしく学ぶためのワークブック」（「本書について」p.2）である。対象は主に初学者であり、後述するように独学も可能である。まず、目次を以下に示す。

本書について／本書を利用する上での注意／キーワード一覧／第1講　総論／第2講　日本語のいちばん古い姿（上代）／第3講　書きたい！　日本のことば／第4講　酒＝「サケ」、酒屋＝「サカヤ」／第5講　王朝文学、花開く（中古・和文資料）／第6講　漢文力！（中古・訓点資料）／第7講　「いろはにほへと」は諸行無常／第8講　漢文訓読・和文のことばと、古代語の色／第9講　起く・起くるとき・起くれば／第10講　食ひつ、食ひき、食はむ／第11講　「ぞ」がきたら文末は連体形！／第12講　武士の時代へ（中世前期）／第13講　狂言・抄物・キリシタン資料（中世後期）／第14講　モジモジことば／第15講　庶民の文化、栄える（近世）／第16講　「こんにった」「ねんぶっと」／第17講　一段化、完了！／第18講　武士・江戸っ子・遊女のことば／第19講　国学者たち／第20講　文明開化（近代）／第21講　君、近代のことばを学びたまえ／第22講　吾輩のウォッチであとテンミニッツ／第23講　現代にも起こっている変化／第24講「標準語」はつくられた？／第25講　発音の変化のおさらい／第26講　「おほね」から「だいこん」へ／第27講　日本語の分析的傾向／第28講　古代語に「です」「ます」はなかった／第29講　頼み方、謝り方の歴史／第30講　こ・そ・あ／あとがき／用例出典／掲載図版一覧

目次からわかるように、音韻（第25講など）・語彙（第4講など）・文法（第9～11講など）、資料（第13講など）や表記（第3講など）、位相（第14講など）と、日本語史における重要事項が網羅されており、日本語史の基礎を一通り押さえることができる。

本書の最大の特徴は、穴埋め式のワークブック形式であることである。本書は日本語史の用語を手書きでテキストに直接書き込めるようになっており、手を動かすことで用語が記憶に定着することを意図して作成されたとのことである（なお、付録として解答集もあり、自学自習も可能である）。さらに巻末課題もついており、学習事項の確認など種々の活用が可能である。

自学自習用のワークブックとしても、大学の入門科目に用いるテキストとしても利用できる至極便利な一冊であると言えよう。日本語史入門のはじめの一冊として、ぜひ活用されたい。

（くろしお出版、二〇一六年一〇月、一四八頁、一五〇〇円＋税）

（ごとう・むつみ　本学大学院博士後期課程・日本学術振興会特別研究員）